



北九州市では、「こどもまんなか教育プラン」に基づき、全てのこどもにとって「居心地のよい学校」づくりをはじめ、誰一人取り残さない学びと先端的な学びの推進、地域とのつながりの中でこどもを育む教育環境づくりなど、「こどもまんなか」の視点に立った教育を着実に進めています。

少子高齢化やデジタル技術・生成A I の急速な進展等、社会は大きな転換期を迎えています。このような予測困難な時代を生きるこどもたちには、知識や技能の習得に加え、自ら課題を見つけ、多様な人々と協働しながら考え、新たな価値を創造する力が求められています。

令和8年度、北九州市では「学力向上」を最重点テーマの一つに掲げ、A I を効果的に活用した個別最適な学びと読書活動を一体的に推進することで、子どもたち一人一人の「学ぶ土台」をより強固なものとしてまいります。加えて、多様な体験活動や探究的な学びを充実させることで、自ら考え、挑戦し、課題を解決する力を育む教育を推進するとともに、知識を身に付けることだけにとどまらず、その知識を活用し、新しい価値を創造できる力を育てまいります。

また、不登校やいじめへの対応、特別な支援を必要とするこどもへのきめ細かな支援など、一人一人の状況や多様性を尊重した教育の充実を図り、「誰一人取り残さない教育」を着実に進めてまいります。教職員が安心して教育活動に専念し、自ら学び続けながら力を発揮できるよう、学校の自律性の向上や働き方改革を進め、教職員のウェルビーイングの実現にも取り組んでまいります。

教育は、社会の礎であり、未来を創る原動力です。全てのこどもが持っている可能性を最大限に発揮し、それぞれの夢や希望を実現できるよう、学校・家庭・地域・企業など多様な主体との連携・協働を深めながら、「こどもまんなか教育プラン」の実現に向け、教育行政に全力で取り組んでまいります。

令和8年8月

北九州市教育委員会 教育長 太田 清治